

瑞穂市コミュニティバス「みずほバス」の概要

◇運行の目的

- ① 市の公共交通機関として地域住民の交通の利便性向上を目的に、市民の足を確保します。
- ② 高齢者や子供等の移動を支援することにより、その社会参加を通じた外出意欲を促すとともに、公共施設、買い物等へのアクセスを確保します。
- ③ 公共交通サービスを充実・強化することにより、自家用自動車依存を抑制して環境負荷を軽減を図ります。

◇導入の歴史

- 平成11年10月1日 当時の穂積町で本田線、牛牧線の2路線で「ほづみバス」として運行を開始。
- 平成15年 5月1日 穂積町と巢南町が合併。
- 平成16年 5月1日 「みずほバス」と名称変更し、旧巢南地域に路線を拡大。本田馬場線、牛牧十七条線および鷺田船木線の3路線とし、運行を開始。
- 平成17年 4月1日 みずほターミナル新設。
- 平成22年 4月1日 牛牧十七条線がプラント6まで延伸して運行開始
- 平成23年10月1日 路線バスである穂積リオワールド線、大野穂積線の発車がみずほターミナルから穂積駅に変更。
- 平成24年 4月1日 路線バスである穂積リオワールド線を瑞穂北部線と名称を変更し、みずほバスの路線として運行開始。みずほバスは4路線体制となる。
- 平成25年 4月1日 みずほバス路線再編。本田唐栗線、十九条古橋線、牛牧穂積線の3路線で運行開始
- 平成25年10月1日 ICカード乗車券「アユカ(ayuca)」の運用開始
- 平成26年 5月1日 みずほバスの車両を更新

◇委託先

瑞穂市が岐阜乗合自動車㈱（通称：岐阜バス）に委託しています。

◇乗車賃等

1. 大人料金と子供料金の区分						
No.	区 分			料 金	障がい者 料 金	現在
1	大 人		中学生以上	100円	50円	100円
2	小 人		小学生	50円	30円	100円
3	幼 児		1才以上6才未満 (6才でも小学校入学前 は幼児とみなします)	50円	30円	無 料
				(※次表「同伴料金」参照)		
4	乳 児		1才未満	無 料		無 料
2. 同伴料金						
No.	区 分			料 金		
1	大人1名と幼児1名			100円 (大人1名分)		
2	小人1名と幼児1名			50円 (小人1名分)		
3	大人1名と幼児2名			150円 (大人1名分+小人1名分)		
4	小人1名と幼児2名			100円 (小人2名分)		
5	大人1名と乳児1名と 幼児1名			100円 (大人1名分)		
6	大人1名と乳児1名と 幼児2名			150円 (大人1名分+小人1名分)		
7	大人1名と乳児1名と 小人1名と幼児2名			150円 (大人1名分+小人1名分)		
8	幼児1名 (幼児2名)			50円 (小人1名分) 《100円(小人2名分)》		

※定期券・回数券等はありません。

◇バスの特徴

二代目のみずほバスは、市の花「アジサイ」、市の木「サクラ」の色をベースとし、花びらが風に吹かれて流れていく様子をイメージしたデザインになっており、笑顔いっぱいの「かきりん」がみなさんを目的地まで安全にエスコートします。バスは日野自動車のポンチョ（小型バス）を3台で、座席14席と16の立席の定員30人乗り、座席の3つは折りたたみ式で車椅子を固定できるようになっています。

年末年始（12月29日～翌年1月3日）以外は毎日運行します。ただし、平日ダイヤ、休日（土・日・祝日）ダイヤがあります。

JR穂積駅を基点とし、公共施設、病院、スーパー等が利用できるように幹線道路を中心に市内全域を安全に走行できる道路を路線として運行しています。停留所は、概ね半径300mの円が交わらないようにバス停間隔として600mを設けており、公安委員会とも協議のうえ、交差点から50m離すとともにカーブ等の危険箇所を回避して設置されています。



←二代目みずほバス

◇主なバス利用者

朝夕は、通勤・通学のために JR 穂積駅に向かわれる方が多く利用されています。その他の時間帯は、主にスーパーでの買い物や病院への通院、公共施設でのイベント参加等で多く利用されています。

◇運行ルート

①本田・唐栗線

- (1) 運行所要時間 47分
- (2) 運行距離 18.3km
- (3) 停留所数 36ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本（土日祝日 4本）
右回り4本（土日祝日も同じ）

②十九条・古橋線

- (1) 運行所要時間 45分

- (2) 運行距離 17.8 km
- (3) 停留所数 24ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本 (土日祝日 4本)
右回り4本 (土日祝日も同じ)

③牛牧・穂積線

- (1) 運行所要時間 39分
- (2) 運行距離 16.1 km
- (3) 停留所数 25ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本 (土日祝日 4本)
右回り5本 (土日祝日も同じ)